

R I. 第2620地区 静岡第2分區
三島西ロータリークラブ

週報

第2130号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 西本 和夫 幹事 宇田川 茂



広重版画より 三島 朝霧

第2193回例会

2018.1.25晴

司 会

柴崎恵子君

ロータリーソング

「それこそロータリー」
指揮 赤池克斗君

“こんにちは、ようこそ”

ビジター 杉村伸二郎君(三島RC)

会長挨拶

副会長 佐野宏三君

皆様こんにちは。今週、この冬最強の寒気団が日本列島を覆っています。連日大雪による交通網の乱れや事故がテレビで放映されています。またインフルエンザが大流行、患者数は例年の倍以上で、皆様方の周りでも感染した人がいると思います。

さて、明後日27日、台湾苗栗から交換中学生8名、引率者3名が来日します。交流は、昭和62年から32年間も続いており、今まで200名以上の中学生が異文化に触れる不安と夢を持って海を渡っています。1週間の滞在中に、三島市長や清水町長への表敬訪問、中学校の体験入学や着物の着付け等、日本の文化、伝統や風習を見聞して、台湾との違いを知る貴重な体験になります。詳しい日程については既にポケットに配布済みです。中学生の滞在費用は皆様方の貴重な年会費から支出されます。この事業を国際奉仕委員会や一部有志だけに任せるのではなく、西クラブ全員が関心をもって参加してくれることを希望します。

今回のホームステイ先は、宇田川さん、鈴木正二さん、木村さんそして佐野です。奥様方が一番気を遣うのは食事面と健康管理ですが、事前に打合せや観光の視察もしてあるので、準備万端だと思います。

2年前の交換中学生の時は天候不良で、日本の象徴である富士山が見られませんでした。皮肉なことに交換中学生が帰国した翌日からいつもの姿が現れました。今年は空気の澄んだこの時期にみられる麓まで雪をかぶった富士山を是非見せてあげたいです。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	32/38	84.21%	33/38	86.84%
今回	28/37	75.68%	会員総数	47名

欠席者 窪田君、鈴木(郁)君、須田君、諏訪部(照)君、長田君、橋本君、花房君、原君、前田(博)君

幹事報告

幹事 宇田川茂君

- ① 今月は職業奉仕月間です。今日の卓話は、職業奉仕委員長鈴木正二さんをお願いします
- ② 今週末より台湾交換中学生の受け入れがスタートします。歓待しましょう。付き添いの方、同行される方、歓迎会出席の方、お世話をよろしくお願いいたします。
- ③ 来月2/17(土)のIMの出欠席を回覧しています。今回のホストクラブは伊豆中央RCで東レ研修センターが会場となります。第2分區最後のIMとなります。たくさんのお席をお願いいたします
- ④ 来週は夜間例会で開会点鐘が18時、場所は松韻となります。

2017～2018年度
国際ロータリー会長
イアンH.S.ライズリー

ロータリー：変化をもたらす

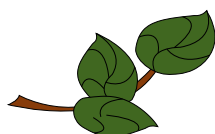
おめでとう

会員誕生日 亥角君、川真田君、
伊丹君
奥様誕生日 矢岸君、赤池君、梶山君、
大石君
結婚記念日 森崎君、三田君、栗原君



スマイルボックス

◆伊丹君、せせらぎ亭が一年で一番良い季節が来ます。来る2月12日～14日梅まつりを実施いたします。しだれ梅46本、河津桜14本、合計60本がほぼ同時咲きます。伊豆フェルメンテの美味しい甘酒の接待あります。昼はセミプロの演奏があります。勿論無料です。今年から夜も庭を無料開放いたします。



静岡第2分区IM

開催日 平成30年2月17日(土)
登録受付 13:30～14:00
会場 東レ研修センター
ホストクラブ 伊豆中央RC
メインテーマ 米山梅吉翁
サブテーマ 米山学友

プログラム

第1部 全体会議 14:00～15:00
第2部 講演 15:15～17:15(3ステージ)
第3部 懇親会 17:30～18:30

卓 話

職業奉仕月間

鈴木正二君

昨年4月2日の地区協議会で職業奉仕委員会に出席しました。社会奉仕は委員長もやり、行動を通して社会奉仕をするということは身につけていましたが、職業奉仕とは「職業を通して社会に奉仕すること・職務に精励することが結果として職業奉仕である」という認識と、事業としては会員会社等を訪問・見学させてもらってその具体例を知ることくらいしか知りませんでした。その地区協議会では、そういうものはRIの「理念」であり五大奉仕としての職業奉仕ではなく、2016年のRI定款の改定にあるように会員の持つスキルを活用した活動を行うことが現在の職業奉仕であるという話でした。世界のロータリー運動の中で、日本のロータリーの「ガラパゴス化」を招いているという、「職業奉仕はロータリーの根幹か?」という寄稿文(ロータリーの友2017年1月号P14～17)をもとに説明・討論がなされました。その時の私の知識ではチンプンカンプンでしたし、今年度の委員会活動をどうするか混乱してしまいました。

今回の卓話をするにあたり、手続要覧、ロータリーの友、三島西ロータリークラブの入会以降の活動報告を読み返しました。そこで発見したのは、2011年6月迄(矢野年度)までは奉仕プロジェクト委員会があり、その中に社会奉仕部門・国際奉仕部門・職業奉仕部門の3部門があり、2011年7月(渡邊年度)からそれぞれが委員会となったという単純なことでした。又今年1月号のロータリーの友では、理念を強調する、ロータリーの親睦こそが職業奉仕を自覚させるという寄稿文があり、昨年度の川名委員長の卓話の中にある地区協議会で受けた説明もそれに近いものである感じがします。定款の改定の解釈がいろいろあり、いろいろな意見があるように思います。

各テーブルにアンケート用紙を置いてあります。2016年RI定款改定のところを、どう解釈するかについて各テーブルで議論をしてもらいたいと思います。そして、追加された「クラブが開発したプロジェクト」とはどのようなことが考えられるか思い付きでも結構ですから話し合ってください。少ない時間ですがよろしくお願いします。必ず提出をしてください。(全テーブル回収済)

今週の土曜日27日に2620地区職業奉仕セミナーが静岡市で行われます。事前にアンケートもありましたので、そこで新しい情報や具体的事例等が得られると思いますので、今日のアンケートとセミナーでの情報をもとに今後の方向性を後日ご報告いたします。

(週報担当:伊丹秀之)